

生活介護利用者作品

本年もよろしく
お願いいたします



【子】松岡徹哉さん 書

謹賀新年



新年のご挨拶

理事長 岩本 悟

皆様、新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ致します。

昨年、前理事長が急逝し、六月から現職に就任して早半年が経過しました。はびねす福祉会の「広い心とさわやかな笑顔」の基本理念のもと、全職員が、すべての障がい者の期待に応える「地域の中核的障害者支援施設」としての自覚を持ち、日々頑張っていることに対し、嬉しく思い、感謝するとともに、ご利用者の皆様の「笑顔」に接し、「元氣」を頂き、障がい者福祉の専従者として、はびねす福祉会の「一層の充実を図り、前進していきます」。

益田市では昨年アイルランドの東京五輪パラリンピック出場選手キャンプ誘致を機に、「共生社会ホストタウン」として全国で三十七自治体の一つとして登録されており、その目的は「障がい者や高齢者が暮らしやすい街づくり(バリアフリー化)」と「外国のパラリンピアン(障がい者選手)との交流」であります。障害者福祉の更なる向上を目指し、「行政」「地域」「他障がい福祉関連団体」「障がい当事者団体」等との連携を密にし、役職員一丸となって取り組んで参ります。

終わりに、この二年間の皆様のご健勝とご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とします。

令和二年一月



ライトイットアップブルーキャンペーン作品募集

あゆみの里では昨年に引きつづき「世界自閉症啓発デー」に、世界を青い光に包むことで自閉症啓発を促す『ライトイットアップブルーキャンペーン』というイベントを令和2年4月3日（金）に開催します。そこで今年も《青の世界》と題し、自由な発想で作られた青い作品の展示を企画しています。下記の規格にあう作品であれば、どんなものでもO.Kです。

応募していただいた作品は、令和2年4月2日～令和2年4月8日まで、あゆみの里に展示します。詳細はホームページに掲載しておりますので、ご確認ください。皆さまのご応募お待ちしております。

1.応募資格 浜田市・益田市・鹿足郡に在住の方

2.応募点数 個人作品、グループ作品にかかわらず、一人（団体）一点とします。

3.作品の内容と規格 未発表のオリジナル作品

※キャラクターなどを描いた作品や、既存の作品を模写したものは、著作権法に触れるおそれがあるため、応募することはできません。

(1)素材 自由ですが、自然由来の素材（なまもの・木の実・枯れ枝・枯草・流木・貝殻など）、危険性の高いもの（素材に刃物を使用しているものなど）は、お受けできません。

(2)大きさ ①平面作品 作品の大きさが、幅400cm×縦400cm以内

②立体作品 幅、奥行き、高さの3辺の合計が300cm以内

4.応募方法

応募用紙に記入の上、障害者福祉センターあゆみの里 啓発実行委員会宛に持ち込み頂くか、郵送してください。（郵送料はご負担ください。）

(1)応募期間（受付期間）令和2年3月2日（月）～3月19日（木）

(2)応募用紙の送付先

〒699-5132 島根県益田市横田町2087番地1

益田市障害者福祉センター あゆみの里 啓発実行委員会

TEL (0856) 31-5100 / FAX (0856) 31-5102



World Autism
Awareness Day

5.その他

(1)取得した個人情報は、キャンペーン時に限り使用します。

(2)作品の保管については、万全の注意をもって取り扱いますが、不可抗力による作品の損傷に対しては、その責任は負いかねます。

(3)応募された作品は、メディアでの紹介や、画像データとして保管し主催者の刊行物・ホームページなどに掲載する場合があります。

(4)応募作品は原則として返却いたしません。

ライト・イット・アップ・ブルー イベント

日時：令和2年4月3日（金） 場所：あゆみの里

障がい者団体演奏・点灯式・お菓子販売等

玉ねぎの定植をしました



就労継続支援B型事業所
レインボーハウス
たんぽぽ



2019年11月に玉ねぎの苗を7,400株植えました。寒い日もありましたが、利用者みなさんが、一生懸命に作業をされ、無事に植えることができました。来年の収穫が楽しみです♪

ありがとうございました!!



2019年に赤い羽根共同募金の助成をいただき、エスプレッソマシン、ソフトクリームフリーザーを整備しました。

今後のイベントや出店などに大切に使用させていただきたいと思っております。赤い羽根共同募金にご協力いただきました皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

エスプレッソマシン

ソフトクリームフリーザー



就労体験に行ってきました



今年度、島根県で初の障がい者就労体験事業が、11月10日(日)益田市で行われました。市内の就労継続支援A型、B型の事業所から、障がいのある方たちが、益田市民体育館で行われた「ご縁の国しまねツアー 2019益田大会」のプロレス大会の会場設営、パンフレット折り込み、配布、受付等の作業を行いました。

レインボーハウスからも2名の利用者が参加し、関係者の方の指示に従い、椅子を並べたり、席札貼りを手際良く行いました。利用者からは、「初めてのことでしたが、上手に取り組みました。」との感想がありました。これが単年で終わるのではなく、今後も継続され、体験の場が増えていくことを願います。



長い間ありがとうございました



設立当初、「精神障がい者の地域生活を支える会」が発足され、地域住民の方々と信頼関係を結びながら、一人一人のペースを大切に暮らしてきましたが、共同生活援助グループホーム神田寮は令和元年9月末をもって閉寮いたしました。

平成15年8月からの16年間、地域の皆様には、入居者の皆さんを地域の一員として受け入れ、暖かく見守ってくださりありがとうございました。

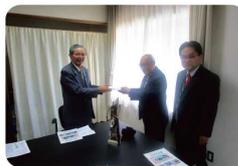
「支える会」につきましては、今後も活動を継続してまいりますのでご支援をよろしくお願いいたします。

ご寄贈・ご協力ありがとうございました

ANAから寄贈がありました。
クッションとブランケットの提供がありました。大切に使います。



10月16日(水)益田市叙勲会より、精神障がい者の地域生活を支える会（事務局 あゆみの里 地域活動支援センター）に、20万円の活動助成金をいただきました。



ご寄付

○百合本和子様 ○こもれびボランティア様

ご寄贈、ご協力

- こもれび様（レインボーハウス、たんぼぼ、地域活動支援センター、生活介護での活動や作業等のお手伝い）
- 田原員行様（野菜の苗）
- 手話奉仕員登録者様（毛糸、布）
- 協力会員の皆様（SST）
- 地域の皆様（衣類の提供）
- 支える会の皆様（視察研修への参加）
- 大正琴・手芸ボランティアの皆様
- JAしまね西いわみ女性部様（手作りおやつサービス）
- マイメディア様、アルソック様（まつりテント立てお手伝い）



「あゆみの里発 はっぴー号」は、点字版・朗読CD版・拡大るび版をご用意しています。必要な方はあゆみの里までご連絡ください。

あゆみの里 開館時間
(月)～(金) 8:30～17:30
(土) 8:30～16:00